

## 『人の幸せをうばう差別やいじめ』

多久市立東原彦舎中央校 7年 瀬上<sup>ふちがみ</sup> 鈴音<sup>りん</sup>

人権とは人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利であるらしい。でも、学校でのいじめ、SNS などを使ったいやがらせ、外国の人に対する差別などの様々な人権問題が現在の社会で起こっている。そう聞いて私は、いじめはいじめられた人が悲しみ苦しむだけでなにも良い事、利益はないはずだ。どうしてそんな事をやってしまう人が現在の社会にいるんだろう。と私は思う。

テレビでも SNS による誹謗中傷により、自殺するというニュースを聞いたことがある。軽い気持ちで SNS に投稿した内容がその人を傷つける事になるため気を付けなければいけないと思う。

今の世の中は、インターネットがふきゅうし、簡単に世界とつながれる。それは良いところもあるが、軽い気もちでつぶやいた投稿が数秒で世界に広がる事となる。それを見た人たちがその投稿に対してコメントをつぶやく事になり一つの何気ないコメントが何百件と増えていくことになる。その内容が相手に対してよろこばしいことであればその人はそのコメントをうれしい気持ちで読めるかもしれない。しかし、その内容が悪口やデマだったらその相手はどう思うだろうか。悲しく苦しくなるのではないだろうか。そしてそれが何百、何千と増えていけばその気持ちは計り知れないと思う。SNS は便利であるが、凶器にもなると思う。

人はなぜかその人をよく知らなくてもたまたま見た投稿について想像や冷やかして投稿してしまう事があるようだ。投稿した時は何も考えていないのかもしれない。ただ人と同じ内容を投稿してみただけかもしれない。おもしろがって投稿したのかもしれない。そうだとすると、そこが恐ろしいところだと思う。ターゲットとなっている人は、なぜ知らない人からも誹謗中傷を受けなければいけないのか。自分のまわりの人はみんな自分の事をそう思っているのではないか。みんな敵のような気持ちになるのではないかと思う。そのような状況になると人と会う事すら恐くなり、追いつめられるように思う。それは人間が人間らしく生きられなくなっているということではないか。SNSがふきゅうすることにより、世界中で起こる可能性がある問題であると思う。

今ネットでの誹謗中傷について罰せられる法律があるとテレビで見た。罰せられるからやらないのではなく自分がその立場になったときの事を考えて投稿すべきだと思う。私は学校で論語の勉強をしている。「己の欲せざる所、人に施すことなかれ。」という論語がある。自分が人にされていやだなと思う事は、人にしてはいけません。いつも相手を思ういたわりの心をもてたらいいですね。という意味がある。とても大事なことだと私は思う。SNSを利用する際は、相手の顔が見えない状況があると思う。その中でまわりの発言に合わせてたりするのではなく、いつも相手を思う心を忘れずに投稿することが大事だと私は思う。そのことにより、誹謗中傷に

よる自殺等も減るのではないかと私は考える。人が人らしく生きるために、みんなが相手を思いやる心を忘れずに生活することで世の中が明るくなればいいなと私は思う。差別やいじめのない世界が広がってほしいと思う。私も思いやりの心を忘れずに、自分がされていやなことは他人にしないようにしたいと思う。